

2018年12月20日

報道関係各位

東急不動産株式会社

インドネシア・ジャカルタ中心部での大規模複合開発

「ブランズ メガクニンガン」2019年初頭から販売開始

「日本インドネシア国交樹立60周年記念事業」認定の事業発表会開催

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:大隈 郁仁)の現地子会社である東急不動産インドネシア(本社:ジャカルタ首都特別州、社長:斎藤 圭司、以下 TLID)は、インドネシア共和国のジャカルタ市内中心部(CBD)にあるメガクニンガンエリアで行う分譲住宅・賃貸住宅・商業施設からなる大規模複合施設開発事業「メガクニンガン プロジェクト」で、分譲住宅「ブランズ メガクニンガン」の販売を2019年初頭から開始することになりましたのでお知らせします。販売戸数、価格帯など詳細は検討中です。

18日、インドネシアの政府関係者や国土交通省、本プロジェクトに資本支援する株式会社海外交通・都市開発事業支援機構(東京都千代田区、以下、JOIN)の関係者を招き、現地でメガクニンガン プロジェクトの事業発表会を開き、事業紹介とマーケティングギャラリーの公開をしました。また、日本とインドネシアの国交樹立60周年の記念すべき本年、その記念事業の一環として更なるインドネシアの発展のために事業を推進してまいります。今後はまず、ブランズ メガクニンガンの販売活動を現地の富裕層を中心に進めていきます。



事業発表会の様子
(主な参加者、左より)

寺島弘太郎東急プロパティマネジメントインドネシア代表取締役社長

斎藤圭司東急不動産インドネシア代表取締役社長

兼松将興海外事業本部執行役員本部長

マルロマタリ南ジャカルタ市長

宮下匡之在インドネシア日本国大使館公使

清瀬和彦国土交通省審議官

稲川文雄 JOIN 常務取締役・プロジェクト管理部長



「日本インドネシア国交樹立60周年」記念事業

日本とインドネシアは、1958年1月20日に日本・インドネシア平和条約に署名し、今年、国交樹立60周年を迎えました。この節目の年に、日系企業である当社がジャカルタの中心部であるメガクニンガンで大規模複合施設の開発計画の発表を行うこの事業発表会が「日本インドネシア国交樹立60周年」記念事業に認定されました。

認定は、「日本インドネシア国交樹立60周年記念事業運営委員会」により、お互いの国の幅広い層において相手国への理解や親近感を深めるため、日本インドネシア国交樹立60周年の趣旨にふさわしい事業になされます。

ジャカルタ中心部の大規模再開発エリアでの複合施設開発事業

本物件はジャカルタ CBD に位置し、市内有数の大規模再開発が進んでいるメガクニンガンエリア内の約1万㎡の敷地で分譲住宅・賃貸住宅・商業施設からなる大規模な複合施設開発・賃貸運営事業になります。

用地取得・開発・管理運営を一貫して日系企業である当社グループが行い、日系メーカーの先進的な住宅設備機器を積極的に導入し、日本品質の建物を実現します。日本での総合デベロッパーとしての経験に加え、既にインドネシアで2物件(ブランド BSD 藍・ブランドシマトウパン)を当社グループの自社主導で開発したノウハウを生かし、成長著しいインドネシアの首都ジャカルタに新しいライフスタイルを提案することを目指しています。



建物外観(予想図)





都会のオアシスをコンセプトとした
建物共用部(予想図)

株式会社海外交通・都市開発事業支援機構(JOIN)との共同事業で実施

JOINは、2014年に日本国政府及び民間企業により、海外のインフラ市場への日本企業の参入促進を目的として設立されました。本事業に対する JOIN からの約65億円の出資支援については2017年12月22日付で国土交通大臣より認可を受けました。この日の認可により JOIN と共同で事業を進めていくことが決定しております。

■メガクニンガン プロジェクト概要

名 称	メガクニンガン プロジェクト
敷 地 面 積	約11,000㎡(将来道路提供面積含む)
延 床 面 積	約120,000㎡(予定)
総 戸 数	分譲住宅(482戸)、賃貸住宅(未定)を予定、価格帯などは未定
建 物 計 画	分譲住宅・賃貸住宅・利便商業施設
マンション内の 主な共用施設	屋外プール、ジム、スタジオ、カフェ、ファンクションルーム等
総合設計監修	株式会社東急設計コンサルタント
施 工	未定
全 体 開 業	2023年(予定)



■プロジェクト位置図

